



# 校長室だより

学校教育目標「自ら学ぶ子供」

八代市立八代小学校  
校長 村嶋 博史

R6,9,25 No,23



八代小ホームページ

## 全校集会(校長講話)を行いました

令和6年9月18日(水)、全校集会(校長講話)を(当日は気温が高かったこともあり)オンラインで行いました。今回は、「時間を無駄なく大切に使う」をテーマに、1日の秒数86,400秒をお金86,400円に例えて話しました。その概要は次の通りです。

「毎朝86,400円が与えられ、夜にはその全てがなくなるとしたら、あなたはそのお金をどうしますか?」の問いに、ほとんどの子供が「残したもったいない」などの理由から「使い切る」と答えました。そこで、この86,400という数字は、一日の秒数でもあることを明かし、「お金と同じように時間も『もったいない』からという理由で無駄なく使っていますか?」と問いかけ、子供たちに(学習シートを活用し)時間の使い方について振り返りを促しました。

これを機に、二度と戻ってこない時間を無駄なく使うことの大切さ(=その時にやるべきことをやる。時間の使い方メリハリをつけるなど)を感じ、今以上に「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を身につけるように励んでほしいと期待しています。



この **86,400 びょうも** 86,400円とおなじように、おだなくつかっていますか?

もちろん ねるじかんは ひつようです  
ねているとき いかいのじかんで、  
おだづかいしているじかんは ありませんか?



**86,400 びょう** を おだなくつかっているか 「じかんふりかえりシート」をつかってふりかえてみましょう  
そして、おだがみつかったら、**きょうからあらためましょう**

ぼくは、ゲームをやりすぎたり、ユーチューブをみすぎたり、そうじちゅうにあそんだりして じかんとおだにしていたなあ

わたしは、じゅうぎょうちゅうに よそみしたり、かみをさわったり、おしゃべりしたりして、じかんと おだにしていたなあ



## リフレクションを促す授業研究会

本校では、授業研究会の内容を「リフレクションを促す授業研究会」に変更して実施しています。「リフレクション」とは、自身の考え方やそれに伴った行動を見直すといった意味の言葉であり、自身の経験を客観的に振り返ることを指します。

従来の授業研究会は、研究授業で扱った教科・単元の研究に終始し、他教科・他単元の授業改善にどう繋げていくか課題でした。例えば、体育科の授業の研究会では、体育科の授業の進め方に係る研究に終始し、そこでの学びが国語科や算数科の授業改善に生かされることはそう多くはありませんでした。

そこで、いわゆる「面」での広がり期待し、次のような流れで研究会を行うようにしました。



- 1 研究の視点に沿って良かった点と改善点を出し合う(フリートーク)【グループor全体】  
※「授業者の自評」「課題設定、学び合い、振り返り、生徒指導の4機能を生かした授業づくりについて」「子供の反応」「教材・教具、発問、ICTの活用」など
- 2 効果的な指導の概念化(キーワード化)【個人】  
※(例)「課題設定や学習活動に必然性をもたせていた」「一人学びの時間を保障していた」「話し合う目的を明確にしていた」「子供に協働学習の必然性をもたせていた」など
- 3 自身の授業改善へのリフレクション(アウトプット)【個人→全体】
- 4 まとめ

本校では、子供たちに確かな学力を育むための授業改善を学校総体で行っています。また、学校教育活動の大半を占める「授業」は、子供たちの人間力を高める場でもあると捉え、生徒指導の4機能を意識した教師の働きかけをこれも学校総体で行っています。

学校ホームページもご覧ください。 **八代小学校** でご検索ください。